-般会計当初予算69億6,800万円

-般会計の概要~性質別歳出~●

用語解説

人件費 議員の報酬、職員の給料などの経費

町が借入れた借金の返済のための経費

高齢者、児童、障害者などを援助するための経費 農道、町道、学校などの公共施設を建設するため

の経費

異常気象などにより被害を受けた公共施設などを 災害復旧費

修復するための経費

施設維持管理のための電気料、委託料や一般事務 物件費

のためのコピー代などの経費

一部事務組合への負担金や各種団体への補助金な 補助費等

どの経費

国民健康保険の医療給付、介護保険のサービス給 付、上下水道の維持管理などのために一般会計が

負担する経費

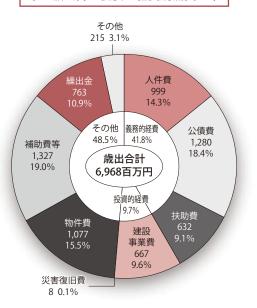
町の負担が義務付けられている経費で、人件費、 義務的経費

公債費、扶助費がこれにあたります

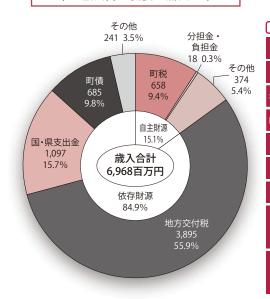
投資的経費

繰出金

道路や学校などの公共施設の整備など、社会資本 として将来に残るものの整備経費



◆一般会計の概要~歳入~◆



用語解説

町が徴収している町民税、固定資産税、軽自動 車税、たばこ税など

町が特定の事業を行う場合に、その経費の全部 分担金 •負担金 又は一部を徴収したもの

国の税金 (所得税、法人税など) の一部が町に

地方交付税 配分されるもの

町が特定の事業を行うために、国や県から交付 国県支出金 されるもの

> 町が事業を行うための資金として長期で借入れ る借金のこと

町税や基金繰入金などの町が独自に調達できる 自主財源

財源のこと

地方交付税や国・県支出金などの国・県により 依存財源 割り当てられたりする財源のこと

教育や福祉、土木や消防など町の基本的な仕事 をするための会計で、皆さんから納付していた 一般会計 だく町税、国からの地方交付税や補助金などが 主な財源です。

一般会計と区別して特定の事業を行うための予 算で、保険料や使用料などの特定の収入でまか 特別会計 なわれ、「国民健康保険事業」や「下水道事 業」などがあります。

◆特別会計予算◆

(単位・千円 %

				(単位・十四、70)
会	計	平成28年度	平成27年度	伸率
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)		1,818,100	1,838,400	▲ 1.1
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)		161,000	186,900	▲ 13.9
後期高齢者	医療特別会計	110,300	112,100	▲ 1.6
介 護 保 険	特 別 会 計	1,415,200	1,406,600	0.6
訪問看護ステーション特別会計		10,300	13,500	▲ 23.7
下 水 道 事 業 特 別 会 計		340,000	460,900	▲ 26.2
財 産 区 4	寺 別 会 計	600	600	0.0
水道事業会計	収益的収入	485,472	480,394	1.1
	収益的支出	484,805	477,198	1.6
	資本的収入	0	174,761	皆減
	資本的支出	158,811	350,975	▲ 54.8

◆基金(貯金)と町債(借金)◆

基金(貯金)	平成28年度 残高(見込)	平成27年度 残高(見込)	平成26年度 残高
財政調整基金	1,962,339	2,081,808	1,861,610
減債基金	390,680	390,582	390,541
合併振興基金	750,526	820,190	940,592
その他特定目的基金	119,562	111,530	183,032
il	3,223,107	3,404,110	3,375,775
			(単位:千円)
町債(借金)	平成28年度 残高(見込)	平成27年度 残高(見込)	平成26年度 残高
一般会計	9,364,012	9,853,486	10,306,809
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)	7,406	9,437	11,878
下水道事業特別会計	1,470,816	1,408,493	1,378,974
水道事業会計	2,955,663	3,114,474	3,180,827
計	13,797,897	14,385,890	14,878,488

平成28年度の当初予算が3月町議会定例会で成立しましたので、その概要と特徴をご紹介します。 一般会計の歳入歳出予算は69億6.800万円となりました。歳入においては、国勢調査人口の減少 により、地方交付税の減額が見込まれ、歳出においては、一部事務組合負担金や公債費が減少するこ となどにより、前年度と比較して1.8%の減少となっています。

また、地方交付税が大きく減少することから、町の基金(貯金)のうち財政調整基金から1億 2,000万円を取崩すこととなり、今後は更なる行財政改革推進が必要となっています。

町では、平成27年12月に「深浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

魅力あふれる深浦町を創生するため、【地域特性を活かした就労機会確保と雇用創出】【観光や移 住・定住による交流人口の拡大】【安心して子どもを生み育てられる環境づくり】【健康で安全安心 な地域づくり】の4つを基本目標として、行財政改革を推進しながらも限られた財源を有効活用し、 一体的に取り組んでまいります。

●歳入●

(単位:千円)

町が独自に調達できる自主財源が歳入全体の15.1%しかなく、地方交付税をはじめ国や県の施 策の動向に大きく左右される依存財源が大部分を占める歳入構造となっています。

●歳出●

義務的経費が全体の41.8%となっており、なかでも公債費が18.4%と借金の返済に係る負担が 重いことがわかります。また、一部事務組合負担金などの補助費等も19.0%と大きな割合を占め る歳出構造となっています。

●基金と町債●

平成28年度末残高見込みにおいて、基金(貯金)は約32億2,300万円ですが、町債(借金)の 残高は一般会計で約93億6,400万円と基金の約3倍となっています。

7 ■ 広報ふかうら ■■■ ■■ 広報ふかうら ■ 6

~産業・雇用対策~

◆漁業経営支援事業◆

~担当:農林水産課~

予算額:20,000千円



漁獲量・魚価低迷、漁業資材の高騰への対策とし て、町内の漁業協同組合を通して漁業者を支援し ます。

◆西海岸広域農道整備事業◆

~担当:建設課~

予算額:80,400千円(県へ10.05%の負担)



トンネル掘削予定地

農産物の効率的な流通経路の確保や一次産業の振 興を図ることを目的に、集落から農作物集出荷施 設への広域農道を整備します。

~移住・定住対策~

◆公営住宅整備事業◆

◆観光産業振興事業◆

予算額:23,553千円

~担当:観光課~



~担当:総合戦略課~

町民及び移住者向けの住環境整備と定住促進のた め、岩崎地区に集合住宅1棟(4戸)を建設しま

平成28年度予算の 主な事業を紹介します

~少子化対策~

◆子ども医療給付事業◆

~担当:ケアセンター~

予算額:15,153千円



子どもに係る医療費の自己負担分を全額助成しま す。今年度から対象を中学生までに広げて助成し

◆子どものための教育・保育事業◆

~担当:福祉課~

予算額:269,470千円



保育所・認定こども関への運営経費負担です。安 心して子どもを生み育てられる環境づくりのため、 今年度から第3子以降の保育料が無料になります。

~地域活性化対策~

◆住宅リフォーム推進事業◆

や観光戦略に取り組みます。

~担当:建設課~

予算額:12,000千円

昨年実施した慶應大学、楽天トラベルとの連携観光プロモーション

観光客や地域への滞在者などの交流人口の拡大に

向けて、深浦町の資源を活かしたプロモーション



事業を活用したリフォーム

住宅投資による町内経済の活性化、町民の居住環 境の質の向上のため、費用50万円以上のリフォー ム工事に対してその15%を最大30万円まで補助 します。

◆北金ヶ沢総合防災センター整備事業◆

~担当:総務課~

予算額:18,650千円



防災センター建設予定地

大地震に伴う津波が発生した場合居住区域の大部 分が浸水区域となると予想される北金ヶ沢地区の 高台に、防災拠点と避難施設を併設した総合防災 センターを整備します。今年度は地質調査・設計 を行い、来年度本体を建設する予定です。

9 「広報ふかうら ■■ ■■ 広報ふかうら ■ 8